



## 都内企業の景況感

—第115回企業動向調査結果 平成25年6月実施—



前回(2月調査)



今回(6月調査)



先行き[今後6か月間の見通し]

◎ 都内中小企業の景況は、回復への動きが足踏み。先行きは改善の見通し。

1. 都内中小企業の景況は、自社業況判断DI*が前回の-1.1から今回-4.5へと3.4ポイント低下し、回復への動きが足踏みとなった。先行きについての同DIは5.2とプラスで、改善の見通し。	(景気指標 DI)	前回	⇒	今回	⇒	(先行き)
	自社業況判断 DI*	-1.1	⇒	-4.5 (前回予想 11.6)	⇒	5.2
2. 売上高DI*は、前回の-6.5から今回-8.5へと2.0ポイント低下、経常利益DI*は、-7.2から-11.4へ4.2ポイント低下した。先行きについては、両DI*ともに上昇する見通し。	売上高 DI*	-6.5	⇒	-8.5 (前回予想 8.1)	⇒	5.5
	経常利益 DI*	-7.2	⇒	-11.4 (前回予想-0.8)	⇒	-0.4
3. 価格DIを見ると、販売価格DIは、今回-1.7と10.8ポイント、仕入れ価格DIは26.2と15.6ポイント上昇した。先行きは、販売価格DI、仕入れ価格DIともに上昇する見通し。	販売価格 DI	-12.5	⇒	-1.7	⇒	6.0
	仕入れ価格 DI	10.6	⇒	26.2	⇒	37.1
4. 資金需要DIをみると、設備資金需要DI*は、前回の3.4から今回2.7へと0.7低下し、運転資金需要DI*は前回の7.7から今回8.1へと0.4ポイント上昇した。先行きは、両DI*ともに上昇する見通し。	製造業製品在庫 DI*	-8.1	⇒	-9.9	⇒	...
	設備資金需要 DI*	3.4	⇒	2.7	⇒	9.6
	運転資金需要 DI*	7.7	⇒	8.1	⇒	15.4
5. 金融機関借入難易感DIは、今回20.7で前回とほぼ横ばい、資金繰りDIは、今回3.0と1.2ポイント低下した。	金融機関借入難易感 DI	21.0	⇒	20.7	⇒	...
	資金繰り DI	4.2	⇒	3.0	⇒	...
6. 経営上の問題点では、「同業他社との競合」がシェア15.4%で、前回同様第1位となった。第2位は、前回と同じく「売上不振」で15.2%であった。第3位は前回5位の「原材料高・仕入れ価格高」で、13.2%にシェアを高めた。第4位は、前回3位の「人材難」で11.9%だった。第5位は、前回4位の「取引先からの値引き要請」で9.2%だった。第6位は「労働力不足・求人難」で6.6%、第7位は「円相場変動」で5.0%、「人件費等経費の増加」は4.6%であった。	(経営上の問題点)	(前回%)		(今回%)		
	同業他社との競合	16.8	⇒	15.4		
	売上不振	16.3	⇒	15.2		
	原材料高・仕入れ価格高	9.1	⇒	13.2		
	人材難	11.0	⇒	11.9		
	取引先からの値引き要請	9.5	⇒	9.2		
	労働力不足・求人難	7.5	⇒	6.6		
	円相場変動	4.7	⇒	5.0		
	人件費等経費の増加	5.9	⇒	4.6		

1. DI値は、アンケート回答総数を100%とした場合の、「好転」又は「増加」企業割合から「悪化」又は「減少」企業割合を差し引いた数値。  
2. 天気図は自社業況判断\*、売上げ\*、経常利益\*、設備資金需要\*の4指標の平均値(前回-2.8、今回-5.4、先行き5.0)で判断したもの。前回は「うす曇り」、今回は「うす曇り」、先行きは「晴れ時々曇り」。  
3. 季節調整済みの指標には、\*マークを添付。原数値の指標にはマークなし。  
4. 「先行き」、「見通し」は、今後6ヶ月間の見通し。